

- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線

部数

法政大学出版局 2022年1月31日配本 定価5390円(本体4900円+税)

A5判上製・292頁

張文菁 著

通俗小説からみる文学史 1950年代台湾の反共と恋愛 ISBN978-4-588-49520-5 C1090

日本の植民地統治が終わると、台湾はそれまでの「国語」を失い、図書市場を新たに構築せざるを得なくなった。国民党政権から反共文芸を推奨されるなか、巷の貸本屋で読まれたものは何であったか。作家や作品に加え、政策、市場、メディア、読者の多角的な視点を加えた全7章。文壇から追放された商業出版のしたたかな戦略と共に、恋愛小説がジャンルとして認知される過程を描き出す。 【台湾文学史】

☆関連書：星名宏修『植民地を読む』、張欣『越境・離散・女性』（いずれも小局刊）。

帖合・番線

部数

法政大学出版局 2022年2月10日配本 定価4400円(本体4000円+税)

A5判上製・248頁

鈴木裕輔 著

清沢満之における宗教哲学と社会 ISBN978-4-588-15124-8 C1010

浄土真宗・真宗大谷派の実践と普及に取り組んだ僧侶であり、ヘーゲルを修めた哲学者でもあった清沢満之。教団内の改革者・教育者としての業績は広く知られるものの、彼の西洋哲学研究者としての側面は長らく等閑視されてきた。西田幾多郎以前の形而上学研究を先導し、ヘーゲルの論理構造を自身の宗教哲学に刻みこんだ清沢の思想形成を辿り、その独自の社会観・国家観を明らかにする。 【日本思想・浄土真宗】

☆関連書：飯田泰三『大正知識人の思想風景』、藤田正勝編『思想間の対話』（いずれも小局刊）。

好評11刷!!

部数

法政大学出版局 2022年12月重版出来 定価3630円(本体3300円+税)

A5判上製・388頁

佐藤進一 著

新版 古文書学入門 ISBN978-4-588-32011-8 C1021

古文書学界の四半世紀に及ぶ研究の発展によって提起された問題を検討して自らの見解を示し、数々の改訂・増補を施し全面的に組み直された、佐藤古文書学の決定版。

【古文書学】

☆関連書：

好評2刷!!

部数

法政大学出版局 2022年1月31日重版出来 定価3080円(本体2800円+税)

四六判上製・306頁

洪郁如 著

誰の日本時代 ジェンダー・階層・帝国の台湾史 ISBN978-4-588-60362-4 C1320

「日本時代」とは何か。印象論的な「親日台湾」を乗り越え、台湾のいまを知るためには、とりわけ日本が深く関わった時代に正面から向き合う作業が避けて通れない。植民地統治は、当時の台湾の人々の生活とその戦後をどのように規定していったのか。本書は語られなかった、書かれなかった日本時代にフォーカスし、個人史と家族史を中心に新たな視座を提供する。 【台湾史・日本史】

☆関連書：星名宏修『植民地を読む』、ロー・ミンチェン『医師の社会史』（小局刊）。

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。